

学部学生のみなさんへ

## 2018年度春学期 日本語教育センター ラーニング・アシスタント募集について（お知らせ）

L.A.とは、関西学院大学で提供される科目を対象として、授業担当者の授業運営を補佐したり、履修学生の指導や相談をとおして教育および学習の支援を行う学部学生スタッフの総称です。

なお、L.A.には下記のとおり、業務報酬を支払います。しかし、単なるアルバイト業務ではなく、関西学院大学における教育活動の一環として位置づけていますので、そのことを十分に理解した上で、定められた期間内に申込手続を行ってください。

### ■L.A. 募集要項

募集科目 募集人数	別紙募集科目一覧参照（注）L.A.に採用された学生は当該学期に当該科目を履修することはできない
任 期	2018年度 春学期
申込資格	・本学の学部 <sup>に</sup> 在籍中の正規学生 （注）大学院生、2018年度春学期に休学・退学する（予定者含む）等の学生は申込ができない
業務内容	L.A.は授業担当者の指示を受け、次の業務に従事する。 1) 学生の学習活動への助言対応補助 2) 学生の学習上の質問・相談対応補助 3) 学生の学習進捗状況等に関する授業担当者への報告 4) 授業運営の補助 5) その他授業担当者が必要と認めた教育活動上の補助 ※業務内容詳細：次ページで確認して下さい。
報 酬	Ⅱ種：1講時あたり1,350円
申込方法	「ラーニング・アシスタント申込書」および「履歴書」（所定様式）を日本語教育センター事務室へ直接提出または電子メールに添付して送付。 提出先メールアドレス：cjle_jimu@kwansei.ac.jp なお、メールでの申込に際しては、関西学院大学のメールアドレス（ID（ユーザ名）@kwansei.ac.jp）を用いて申込書類を送付すること。  申込書・履歴書については教学 web サービスのお知らせ、または日本語教育センターウェブサイト上より入手して下さい。
申込締切	2018年4月20日（金）16：50まで
選 考	申込書類をもとに日本語教育センターで選考を行います。 選考結果は4月25日（水）に申込者に電子メールにて通知します。 採用後の手続きについては、採用者に対し個別連絡します。

2018年度春学期 ラーニング・アシスタントⅡ種募集科目一覧

科目名	担当者	日程	募集人数	LA業務回数	主な業務内容	授業内容
レギュラープレ1A①②	西村由美 浅津 嘉之	5月8日(火1) 5月22日(火1) 6月5日(火1) 6月12日(火1) 6月26日(火1) 7月3日(火1)	8名	6回	留学生が指示された口頭練習やタスクなどを正しく行っているか、発音や言い方は正しいかなどをチェックし、間違っている場合には正しい言い方を示す等、日本語会話練習のサポートを行う。また、4回目と6回目には、授業で学んだ簡単な日本語を使った留学生と日本人学生の交流活動を考え、実施する。	日本語を初めて学ぶ留学生のためのサバイバル・ジャパニーズの授業。日本で生活するために最低限必要な日常会話の表現を学ぶ。
日本語学習科目 (聴解A①)	西村 由美	6月1日(金4) 6月8日(金4) 6月15日(金4) 6月22日(金4)	1名	4回	これまでに自分が受けた、あるいは現在受けている大学の講義の内容や、授業の選び方などについて説明する。講義は、一般教養科目とし、全14回の授業のうち、特に印象に残っている回の内容を20～30分程度にまとめて説明する。また、受講した際に読んだ本や資料、自分で書いたノートなども持ってきて、留学生に見せる。自分の経験をふまえ、講義を聞くときの注意点や、ノートの取り方、課題への対応など、留学生が受講する際に参考になるような情報を提供し、留学生からの質問にも答える。	様々な専門分野の講義などの内容を理解する。 聞いた内容について説明し、話し合う。
日本語学習科目 (口頭表現A①)	志村ゆかり	5月10日(木1) 5月17日(木1) 5月24日(木1) 5月31日(木1) 6月7日(木1)	4名	5回	留学生とともに、ビジネスプレゼン(コンペ)を行う。プレゼン過程では留学生とともに、効果的なPRの方法を考え、最終的にグループの一員としてプレゼンを行う。発表準備の過程では建設的な意見や提案等、グループへの積極的な参与を求める。ビジネスに関する専門性は問わないが、パワーポイントが使用できる学生が望ましい。	留学生の国・地域で一般的に使用されている物を日本で売り込むにはどうしたらよいか、日本人の観点から助言を行い、グループメンバーで効果的なPRの方法を考え、プレゼンを行う。プレゼンにあたっては、場にふさわしい表現についても助言を行う。プレゼン後は、留学生とともに、仕事観について話し合う。
日本語学習科目 (調査・報告6①)	中岡 樹里	5月7日(月1) 5月14日(月1) 5月21日(月1) 6月11日(月1)	2名	4回	第1回から3回までは、留学生が行うインタビューの準備と練習のサポートを行う。準備では、留学生が考えたインタビューの質問項目について、テーマとの整合性や過不足がないかなどコメントする。練習では、インタビューの受け手となり、答えにくかった部分とその理由を述べ、改善する方法を留学生と話し合う。第4回は留学生がインタビューを行った結果を発表するのを聞き、準備からかかった経緯もふまえて、コメントをする。	興味を持った身近な社会問題について、上級後半の表現を使ってまとめる。新聞記事等での資料収集や、日本人へのインタビュー調査を行い、その結果を元にレポートを執筆する。
総合日本語2① 総合日本語2② (合同で行います)	浅津 義之 藤原 由紀子	以下の毎火曜日2限 5月8、15、22、29日 6月5、12、19、26日 7月3、10日	6名	12回	あるテーマについて留学生と会話をし、ふりかえりや間違い箇所の修正活動をサポートする。	あるテーマについて自分の伝えたいことや意見を話す練習をする。まず話すことに挑戦し、そこから得られた改善点や弱点を自らや仲間力を借りて克服する。
口頭表現C①	山本 真理	以下全て木曜4限 6月7、14、21、28日 7月5、12日	4名	6回	留学生は、それぞれに「日本語でなんと言ったらいいかわからない状況」を持ち寄り、グループで共有します。LAは留学生らと一緒にその状況を共有しながら、どのような日本語を使ったらよかったのかを一緒に考えます。	口頭表現の能力を伸ばす授業です。LAに来ていただく授業後半では、留学生が「日本語でなんと言ったらいいかわからなかった状況」を持ち寄り、グループで共有します。そして、個別の状況に即した振る舞いや表現をみんなで検討します。